



ゆくて遥かに

令和3年1月12日(火)

第140号

長野県松本深志高等学校長

令和3年、明けましておめでとうございます(1月1日)

この年末年始の間も、コロナ感染者の増加に歯止めがかかる心配はなく、「おめでとう」という言葉を口にするのが憚られるような新年となりました。日常の暮らしが揺らぎ、多くの人が不安を抱いている状態が続いていますが、明けない夜はない、今年は明るい年になっていくといいですね。曜日の配列のせいとか、とてもコンパクトにまとまった一週間でしたが、3年生は共通テスト目前。本年度の受験生は新テストの初年度ということだけでなく、コロナの関係で様々な影響を受けています。7日



2021年(令和3年)1月1日午後1時1棟



には東京・神奈川・埼玉・千葉の1都3県に緊急事態宣言が出されました。大学入試は今のところ予定どおり行われる見通しですが、予断を許しません。しかし、状況はみんな同じです。健康管理には充分注意をしつつ、どんな状況であっても強い気持ちをもって、またどこかで楽しむくらいの余裕をもって、16日から始まる本番を迎えていってほしいと思います。頑張れ、受験生!

なぜ「とんぼ」なのか ~校章「蜻蛉」の由来~

深志の校章はとんぼ。この校長通信の「ゆくて遥かに」の左側にあるように、とんぼが「高」の字を抱いているようなデザインになっています。ではなぜ「とんぼ」が本校の校章になったのか。ある方から、昨年10月の下旬にお便りと貴重な資料をいただき、過去の資料を改めて読み返してみました。本校国語科の教諭だった小林俊樹先生の「深志学年だより」昭和57年2学年・第4号より抜粋です。「(校章の由来は)古来より日本列島の本州全体を指す『秋津洲』に、同音の『蜻蛉』(とんぼの古名)をその象徴として戴くのが、日本の中央に誇り高くあるわれわれ松中生だというのである。また、昭和11年に出された、松中創立50周年の記念誌には『明治31年図画教師望月俊稔ノ考案ヨリ日本ノ別名蜻蛉洲ノ名ニヨリ、蜻蛉ノ徽章ヲ制定シ今日ニ及ブ』と記されて、制作者の名も明らかにされている。この『秋津=とんぼ』の解釈をうけて、松中とんぼがデザインされたことは間違いがないが、それが望月教諭のオリジナルであったのか、そうでなかったのか。この謎解きの端緒を見出したのは、渡辺恭治郎先生である。明治21年4月3日創刊『政教社』発行の思想雑誌『日本人』(後の『日本及日本人』)の表紙に描かれていた4匹のとんぼがそれである。『日本人』の3文字の上に真横から見た幼い2匹と、下に真上から見た2匹とが、極めて写実的な姿でとまっている。また5号以下のとんぼは、より成長したリアルな姿で描かれていて、松中とんぼの原型を明確に察知させたのである。それでは何故『日本人とんぼ』が、長野県尋常



ノ考案ヨリ日本ノ別名蜻蛉洲ノ名ニヨリ、蜻蛉ノ徽章ヲ制定シ今日ニ及ブ』と記されて、制作者の名も明らかにされている。この『秋津=とんぼ』の解釈をうけて、松中とんぼがデザインされたことは間違いがないが、それが望月教諭のオリジナルであったのか、そうでなかったのか。この謎解きの端緒を見出したのは、渡辺恭治郎先生である。明治21年4月3日創刊『政教社』発行の思想雑誌『日本人』(後の『日本及日本人』)の表紙に描かれていた4匹のとんぼがそれである。『日本人』の3文字の上に真横から見た幼い2匹と、下に真上から見た2匹とが、極めて写実的な姿でとまっている。また5号以下のとんぼは、より成長したリアルな姿で描かれていて、松中とんぼの原型を明確に察知させたのである。それでは何故『日本人とんぼ』が、長野県尋常

中学校の校章として採用されたのか、思想集団『政教社』と中学校との関わりはあったのか、この点に焦点を合わせなくてはこの謎は解けない。『政教社』は、明治21年、三宅雪嶺、志賀重昂、井上円了、杉浦重剛ら当時の鹿鳴館的欧化主義の風潮に反対した、国粹思想の推進メンバーによって発足している。三宅は国家主義的日本主義を強調し、井上は後に哲学館（東洋大学）を創設した。杉浦は教育家として終始し、後に日本中学を創設している。この杉浦は大学南校の貢進生として英語科に入り、化学を学んだが、その貢進生仲間の仏語科に、小林有也初代校長がいたのである。しかも杉浦夫人は小林校長の姉という縁浅からざる関係であった。また、志賀は明治17年、長野県中学校の教師として、小林校長と同時期に赴任している。質実剛健の気風と国粹主義の風潮を育む『日本人』の果たした思想的影響と、当時『政教社』と密接な関係にあった小林校長らの眼に、毎号の表紙を飾る4匹のとんぼがとまらない筈はなく、それを生徒職員の統一象徴（校章）としてデザイン化を望んだと考えるのは、至極もつともなことではあるまいか。つまり、明治20年代初期の教育高揚期の校章づくりに『日本人とんぼ』が大きく貢献したと断定せざるを得ないのである」



新年初の登校日は中間考査（1月6日）

令和3年初の登校日は6日、1・2年生はいきなり三学期中間考査からスタートです。各教室の黒板には、考査受験上の注意事項と日課が、既に昨年のうちから書かれていました。年末に購入した加湿器も休業前にキレイに分解洗浄して、しっかりと乾燥状態に。一方の3年生は引き続きの前期特編授業。どの教室からもピリピリした空気感が伝わってきました。年末年始休業中に特に大きなケガや事故の報告はなく、全員無事で三学期を迎えられたことを喜びつつ…。



その他の話題をいくつか

★ 12月25日の昼休みに、3年美術選択者有志により制作されたアニメーション作品の上映会があり、一緒に鑑賞させてもらいました。正規の課題が終わって余力のあるある生徒たちによる「しりとりアニメーション」です。ある人の最後のシーンが次の人の最初のシーンになって繋がっていく、というなかなか楽しい趣向の作品。発想の豊かさや展開の面白さ、なかなかのレベルでした。



★ 第2回高校入試志願者予定数調査が7日に公表されました。旧11通学区の中3生が増えることに伴い、来年度、募集定員を8学級320名に戻しての入学者選抜となりますが、425名の生徒が志願予定としてくれました。後期選抜の学力検査は3月9日です。

今週の予定（1・2年通常授業、3年前期特編授業、共通テスト）

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
12	火	折衝会 学年会	
13	水	共通テスト壮行会 職員会	
14	木	↓	
15	金		全高長常務理事会
16	土	大学入学共通テスト 模試（1・2年）	
17	日	↓	
18	月	学年会	